

## 学校教育目標

たくましくしなやかに、未来を切り拓き、創造することができる、知・徳・体の調和がとれた生徒の育成

## 部活動の活動方針

- (1) 生徒が豊かな学校生活を送りながら人格的に成長していくという部活動の基本的意義を踏まえ、生徒の主体性や個性を尊重した運営に努める。
- (2) 活動志向や楽しみ思考、仲間づくり思考等、生徒の多様なニーズに応え、一人ひとりが自己実現できるような指導に努める。
- (3) バランスの取れた生活や、子どもの健全育成と教育環境の充実の観点から練習日数や1日当たりの練習時間、休養日の適切な設定を行う。

## 主に「運営」に関すること

## 【設置している部活動】

運動部：軟式野球、ソフトテニス（男子）、ソフトテニス（女子）、バスケットボール（男子）、バスケットボール（女子）、サッカー、卓球、バドミントン、バレーボール（女子）、陸上競技、剣道、弓道

文化部：オーケストラ、科学技術、美術

## 【指導体制】

部活動は、学校全体として教育目標や運営方針を踏まえ、推進していくことが基本となる。顧問教職員だけに運営や指導を任せるのではなく、学校組織全体で部活動の目標、指導のあり方を決定していく。また、日常の運営や指導において、顧問教職員間で、活動の成果について意見交換を行い、情報共有を図ることはもちろんのこと、必要な場合には学校長が適切な指示を行う。

## 【顧問会議】

顧問会議については年間2回程度開催。活動に関する意見交換及び、情報共有を図る。

## 【保護者・地域との連携】

学校と地域・保護者が共に子どもの健全な成長のための教育、スポーツ環境の充実を支援するパートナーという考えの下で、こうした取り組みを推進することについて、保護者の理解と協力連携を図る。

## 主に「活動」に関すること

## 【活動計画】

心身の成長期にある中学生への負担を考慮し、段階的な指導を可能にする計画を作成する。特に長期計画において、準備期、試合期、休息期に分けてそれぞれの時期に応じたプログラムをつくり目標を明確にした効率的・効果的な練習を行うように心がける。

## 【活動日・活動時間】

- ① 部活動の早朝練習  
原則として行わない。
- ② 放課後の活動(完全下校時間)  
部活動の終了時間は年間を通して、18時30分完全下校とする。
- ③ 1日の活動時間  
長くとも平日は2時間程度、学校休業日(週末/長期休業中)は3時間程度を目安とし、できるだけ短時間でかつ効果的な活動を行う。
- ④ その他  
環境省熱中症予防情報サイトで徳島地区に発表される数値により、次の通り従う。  
暑さ指数(WBGT)が31.0℃【危険】以上の場合は、運動部活動は中止する。

## 【休養日】

- ① 活動の休養日  
平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日(週末)は、少なくとも1日以上を休養日とする。  
長期休業中は学期中の休養日に準じた扱いを行う。  
(週末に大会参加等で活動に参加した場合は、休養日を他の日に振り替える。)  
学校閉庁日(8/12~15)
- ② 定期テスト発表後の活動  
期末・学年末テストは5日前から活動を休止し、家庭学習(テスト勉強)に取り組む。  
なお、大会などが定期テスト明けすぐ(3日以内)に大会がある場合は、必要に応じて1時間程度の練習を学活終了後に行い、帰宅させることができる。その際は、顧問が保護者への了解を取る。

## 【安全対策・事故防止】

怪我、故障、死亡事故等を防ぐためにも、生徒の体調管理は顧問が責任を持って行い、保護者との連絡相談の上に立ち、活動を行うこと。なお、練習中に何かある場合は速やかに病院等へ搬送すること。管理職、養護教諭、学級担任との連絡を取り合う。